

性的少数者への理解に関するアンケート集計結果(抜粋)

パートナーシップ制度について

- ① パートナーシップ制度があることで安心できる性的少数者の方がおられるのであれば、どんどん進めるべき。
- ② カミングアウトしやすい、カミングアウトしてもよい雰囲気を作ってもらうために、私たちの存在を可視化してほしいです。パートナーシップ制度は、制度の実利を目指すよりも、ある意味で人権宣言だと思って、ぜひ積極的に取り組んでほしいです。ひっそりと目立たないように暮らしている私たちでしたが、もしそういった制度があったら、私たちがいてもいいんだよというメッセージになると思います。
- ③ 本来であれば、性的少数者であろうがなかろうが、すべての人に婚姻が認められるべきであると考えます。ゆえに、パートナーシップ制度の導入はとても重要な政策のひとつと考える一方、それでは不十分であるとも考えます。パートナーシップ制度によって公的・民間サービスが「受けやすく」なるのみでなく、異性愛者(ヘテロセクシュアル)の夫婦が受ける恩恵と同等の権利やサービスを当然に享受できるようになってほしいと思います。
- ④ パートナーシップ制度が広がって欲しいですが、市町村1つ1つの自治体での導入を待っていたら、大分県民全体はその利益を享受できません。県単位でのパートナーシップ制度の導入を望みます。
- ⑤ 県としてできることを早くやらないと、他県に遅れをとって、大分は不寛容なところだと思われてしまいます。多様性に富んだ県としてもっと取り組みを進め、大分から出て行く人を減らしてほしい。
- ⑥ 他の自治体に乗り遅れないような拙速な取り組みの仕方は、言葉だけが一人歩きして真の理解が得られない気がします。"やってる感"だけではなく正しい情報をわかり易く伝えて欲しいと思います。
- ⑦ 公的なサポートに抵抗のある性的少数者の方も一定数いるため、あくまで選択肢の一つとして設けるくらいでいいのかなと思いました。
- ⑧ 個人的には理解ができないという感じです。でも本人たちには今迄は大変生きづらい社会だったと思います。同じ生きる人間としてパートナーシップ制度は大変良いと思います。
- ⑨ 性的少数者の理解を深めることは良いと思うが、戸籍で夫婦関係を構築したりする必要は無いと思う。好きなら好きな人達だけで好きにやったら良いと思う。自分の価値観を他人に押しつけLGBTを認めるというのは違うと思う。
- ⑩ 基本は男と女で家庭を持ってつないでいくというのがBest。基本を崩さない程度の支援で。